

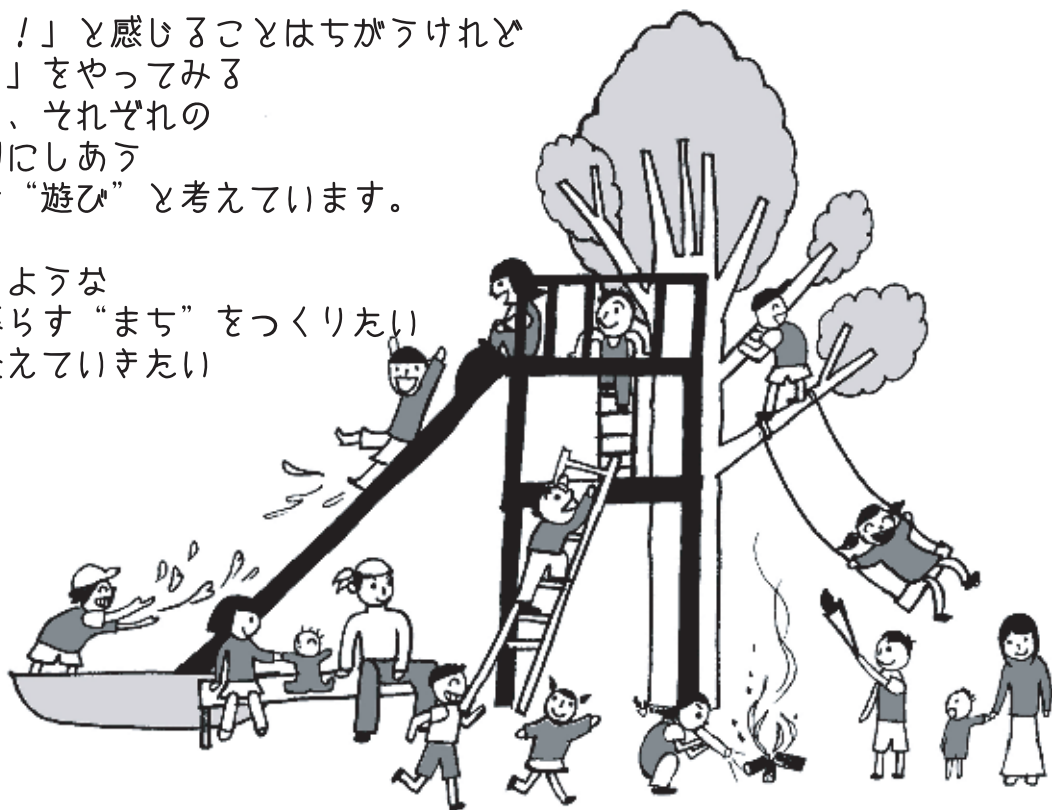
第4回 冒険遊び場づくり 全国研究集会

-遊びで社会が変わる-

人それぞれ「楽しい!」と感じることはちがうけれど
わたしの「楽しい!」をやってみる
わたしも、みんなも、それぞれの
「楽しい!」を大切にしよう
私たちは、これこそ“遊び”と考えています。

“遊び”があふれるような
誰もが自分らしく暮らす“まち”をつくりたい
そして“社会”を変えていきたい

遊びで楽しく!
わたしが変わる
まちが変わる
社会が変わる!!



2008年1月25日(金)

冒険遊び場見学会(近郊の冒険遊び場)

26(土)~27日(日)

本集会(国立オリンピック記念青少年総合センター)

プログラムはすべて子ども同伴で参加できます

参加対象 子育て中の親、冒険遊び場づくりに関心のある個人・グループ、
行政職員、研究者など

申込締切

12月6日(木) 必着

ただし定員になり次第しめきります。
詳細は内面をご覧ください。



©特定非営利活動法人せたがや子育てネット

主催 特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会
助成 子どもゆめ基金体験活動助成
後援 文部科学省、厚生労働省、国土交通省、環境省、林野庁、社会福祉法人全国社会福祉協議会、
(財)公園緑地管理財団、(社)公園施設業協会、こども環境学会、
I P A(子どもの遊ぶ権利のための国際協会)日本支部、プレイグラウンド・セイフティー・ネットワーク



第4回冒険遊び場づくり全国研究集会 —遊びで社会が変わる—



開催趣旨

冒険遊び場は、子どもがのびのびと思いきり自分のしたいことを実現していく場です。日常の自由な遊びを地域の大人たちが支えようと冒険遊び場づくりは全国に広がっています。

日本冒険遊び場づくり協会は「楽しい遊び場をみんなでつくろう」と、冒険遊び場づくりの理念と実践の普及を通じて、地域で子どもたちが自由に遊び育つ豊かな社会の実現をめざし、活動しています。

第4回冒険遊び場づくり全国研究集会では、乳幼児をもつ親をはじめ地域の大人が「子ども」「遊び」を取り巻く環境の変化に目を向け、冒険遊び場づくりを通じて地域社会を変えていくことについて一緒に考えます。

また、社会のいろいろな場面に子どもがいることは当然なことと、できるだけ会場でも子どもと一緒に居られる集まりにできるよう、準備しています。多少ざわつきやアクシデントも予想されますが、参加の方にはご理解ご協力をお願いします。

ひとりひとりの小さな動きが「社会が変わる」につながると実感できるような、出会いの場にしたいと思います。集う人々がそれぞれ「わたし」ができることを持ち帰り、地域での取り組みが、大きく広がることを願っています。



プログラム

1月25日(金)

18:00-

冒険遊び場見学会（東京近郊の冒険遊び場10コース・現地集合）
（※各内容は3ページをご覧ください）

19:00-21:30

見学報告会（国立オリンピック記念青少年総合センター401号室）

1月26日(土)

10:00-10:30

受付（センター棟4階417セミナーホール）

10:30-12:00

基調プログラム「わくわくドキドキ いきいきとした遊びが育むもの」
・遊び絵日記ダイジェスト報告
・汐見稔幸氏講演

12:00-12:10

集会ガイダンス

12:10-13:20

昼食・展示閲覧・移動

13:20-17:00

分科会【A】～【J】（※各内容は4～6ページをご覧ください）

17:00-18:00

移動

18:00-21:00

懇親会（レセプションホール）

1月27日(日)

9:00-12:00

出会おう！話そう！自遊な会（※内容は6ページをご覧ください）

12:00-13:00

昼食・展示閲覧・移動

13:00-15:30

全体会「遊びで社会が変わる」（※内容は6ページをご覧ください）

（16:00-17:00

オフショプログラム(仮)プレーカープロジェクト公開報告会）

プログラムはすべて子ども同伴で参加できます

1月26日(土)

基調プログラム「わくわくドキドキ いきいきとした遊びが育むもの」

「子どもと一緒に外へ出て、仲間をつくってみんなで子育てしよう!」と汐見さんは呼びかけます。冒険遊び場づくりは地域のみんで子育てする取り組みでもありません。子どもが野外で自由に遊ぶためには地域の大人が見守り支えることが大事です。そのコツは「遊び心」を発揮して大人も楽しむこと!でもどうすればいいの?

大丈夫、誰もが昔は子どもでした。いきいきと遊んだ思い出を、人生の宝物を持っていると思います。

基調プログラムでは、本集会に先がけ行なった、ひとりひとりの思い出から"遊び"を探る「遊び絵日記ワークショップ」の成果から見つけた「遊びとは何か」をキーワードで発表します!

そして汐見稔幸さんに遊びが育む大切なものについてお話しいただきます。



汐見稔幸 (しおみとしゆき)

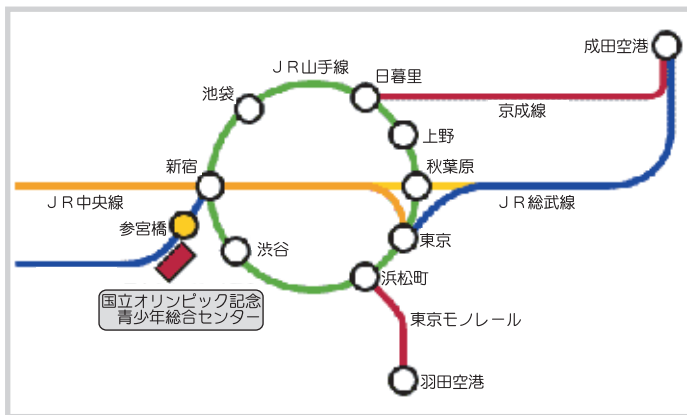
1947年、大阪府生まれ。東京大学大学院教育学研究科教授を経て、白梅学園大学教授・学長。

育児学や保育学を総合的な人間学に、教育学を出産・育児を含んだ人間形成の学問として、その体系化に取り組んでいる。

家族デザイン研究所を設立し、子育て支援のワークショップなども多数主宰している。

会場案内

国立オリンピック記念青少年総合センター



●電車でお越しの場合

- 小田急線
参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線
代々木公園駅(C02)下車
(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分
- 京王バス
新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車
渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車

●車でお越しの場合

- 首都高速4号線
代々木ランプより(三宅坂方面のみ) 約100m
初台ランプより(高井戸方面のみ) 約2km
新宿ランプより(大型バスの場合) 約2km

○羽田空港から 東京モノレール 約23分 浜松町駅乗り換え JR山手線(外回り) 約23分 新宿駅乗り換え 小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車 徒歩約7分	○成田空港から JR総武線 成田エクスプレス 約80~90分 新宿駅乗り換え 小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車 徒歩約7分	○東京駅から JR中央線 約14分 新宿駅乗り換え 小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車 徒歩約7分
---	--	--



冒険遊び場見学会 1月25日(金)

(コースごと10人程度定員の申込制です。13:00時 現地集合。交通費は自己負担。)

1~3コースで2箇所目への移動は電車またはタクシー相乗りの予定)

1世はるコース	世田谷アレーパーク→渋谷はるのおがわアレーパーク(東京都世田谷区・渋谷区) 集合場所：世田谷アレーパーク(東急田園都市線 池尻大橋駅 徒歩約15分) 世田谷区内で2番目1982年に開設した世田谷アレーパークと、渋谷区で2004年に開設した土木部公園課事業の渋谷はるのおがわアレーパークを回ります。両者とも住民と行政のパートナーシップで常設のアレーリーダーのいる冒険遊び場です。渋谷はるのおがわアレーパークは会場のオリンピックセンターまで徒歩5分です。
2から羽コース	烏山アレーパーク→羽根木アレーパーク(東京都世田谷区) 集合場所：烏山アレーパーク(京王線 千歳烏山駅 徒歩約20分) 世田谷区内の4つのアレーパークのうち2箇所を移動して見ます。烏山アレーパークは準備期間8年を経て2003年に事業化した場所です。羽根木アレーパークは1979年に誕生した現在の日本で一番古い冒険遊び場です。同じNPOアレーパークせたがやが受託する区の子ども部児童課の事業ですが、場の環境要素(立地、地形、背景)に違いがあります。
3野駒コース	のぞわテットーひろば→駒沢はらっぱアレーパーク(東京都世田谷区) 集合場所：のぞわテットーひろば(東急東横線 学芸大学駅 徒歩約15分) 「地域みんなで子育てしよう」を合言葉に野沢3丁目遊び場づくりの会が運営しているのぞわテットーひろばは、アレーパーク事業ではなく「世田谷区おでかけひろば事業」に位置づく乳幼児の親子を対象とした遊び場です。屋内スペースは当協会事務所と同居です。比較的近い世田谷区内3番目に開設した駒沢はらっぱアレーパークへも行き、その違いを見てください。
4戸山コース	新宿・戸山アレーパーク/戸山あそび場(東京都新宿区) 集合場所：新宿・戸山アレーパーク(JR山手線 新大久保駅・高田馬場駅 徒歩約10分) 戸山公園子ども遊び場を考える会(略称戸山あそび場)の運営する新宿・戸山アレーパークは、9年前の「あそぼう会」の活動が始まりです。2004年度から区福祉部子ども家庭課が新宿区内各所でのアレーパーク活動を助成する仕組みをスタートし、2006年度から助成金拡充によって週5日開催になりました。都立公園の一角を利用しています。
5国分寺コース	国分寺市プレイステーション/NPO法人冒険遊び場の会(東京都国分寺市) 集合場所：国分寺市プレイステーション(JR中央線 国分寺駅 徒歩約15分) 国分寺市プレイステーションは、私有地を使った市の社会教育施設です。1982年に財団により開設されましたが1999年には市民が立ち上げたNPO法人冒険遊び場の会が市から運営委託を受け、2006年度より指定管理者となりました。「国分寺市プレイステーション条例」が制定されています。
6江戸川コース	発見きち/江戸川遊ぼう会(東京都江戸川区) 集合場所：発見きち(東京メトロ東西線 西葛西駅 徒歩10分) 江戸川遊ぼう会は、遊びの中から自分で何かを発見する遊び場・秘密基地の意味で「発見きち」と名づけた冒険遊び場を、毎週金曜と第2土曜の午後、定例開催しています。世田谷アレーパークに遊びに行った幼い子を持つ4人で、1996年11月に始め、この春10年記念誌をまとめました。行政や消防署、自治会の協力を得ながらの任意団体の活動です。
7草加コース	冒険松原あそび場/NPO法人冒険あそび場ネットワーク草加(埼玉県草加市) 集合場所：冒険松原あそび場(東武伊勢崎線 松原団地駅 徒歩約5分) 2002年4月に発足した「冒険遊び場ネットワーク草加」が行政5課(総合政策課・みんなでまちづくり課・青少年課・みどり公園課・子育て支援課)との協議を重ね、常設への道のりをともに進み今に至っています。けて広くありませんが、公共施設に隣接した公園が冒険遊び場になり、開設後にトイレつきのリーダーハウスをみんなでつくりました。
8千葉市コース	千葉市子どもたちの森/自然遊びわかばの会(千葉県千葉市) 集合場所：千葉市子どもたちの森公園(千葉モノレール 動物公園駅 徒歩約15分) 2007年4月にオープン、最も新しい事業化例である千葉市「子どもたちの森公園」は、実は5年前から、行政の各部署や町内会、小学校、そのPTAなどのメンバーでワークショップを積み重ね、当協会も協力し徐々に運営組織をつくりあげたものです。千葉市における新しい公園の利用方法として公園部局の事業に位置づけられています。見学では市緑政局の方からもお話を聞きます。
9四街道コース	四街道アレーパーク どんぐりの森(千葉県四街道市) 集合場所：四街道アレーパーク どんぐりの森(JR総武本線 四街道駅 徒歩約15分) 「四街道アレーパーク どんぐりの森」は、市内の里山を地権者から借用し、子どもたちと森の手入れをしながら、冒険遊び場を開いています。四季の森の中で、自然とふれあう遊びが展開されています。2006年度から千葉県の「まっ白い広場事業」県内10ヶ所予定のうちの一つとなりました。
10夢パークコース	川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市) 集合場所：川崎市子ども夢パーク(JR南武線 津田山駅 徒歩約7分) 川崎市子ども夢パークは、「子どもの権利に関する条例」を制定した川崎市教育委員会の事業として、子どもも含めた市民とのワークショップを経て2003年に開園した施設で、現在は指定管理者によって運営されています。敷地内には、冒険遊び場のエリアだけでなく、全天候型広場、フリースペース、音楽スタジオなどがあります。行政主導の複合施設の冒険遊び場です。
11見学報告会のみ(19:00-21:30)	オリンピックセンター センター棟401号室 担当：齋藤信三(駒沢はらっぱアレーパーク) 進行：渡部達也(NPO法人やめ・まち・ねっと、当協会地方運営委員) 見学した冒険遊び場のいろいろな発見をグループワークで出します。参考になったこと、おもしろかったことなどを材料に、受け入れ団体の人から経緯や日常の工夫・仕掛けなども聞き、全体で共有します。書き出した模造紙はその後も集会の会場で掲示し、みなさんにお伝えできる予定です。

分科会 【A】～【J】 1月26日(土) 13:00～17:00

各分科会には定員があります。先着順で決まりますのでお早めにお申し込み下さい。
参加申込書には第1希望から第3希望を記入していただきます。

※分科会A・B・Cは親子での参加をお勧めします。

※対象年齢は分科会【A】0歳～3歳 【B】2歳～5歳 【C】5歳～10歳となっています。

【A】どんな子育てしてみたい？ ～外遊びがひろく子どもの世界～

体験 講義

担 当：首藤万千子(プレーパークせながら) 藤原妙子(羽根木プレーパーク)
講 師：藤井浩子(おおきな木保育園)

0～3歳くらいの子と
親での参加がお勧め
です。
(大人だけでもOKです)

“自然の中でおもいっきり遊ぶ！”都会の中でもそんな子育てができるんです。それは豊かな感性やあふれる意欲と体力、仲間を思いやる心などを育む、無くてはならない子ども時代の経験。今回はおおきな木保育園の藤井園長を迎え、自然の中での楽しい子育てのヒントを教えてください。前半はとっておきの親子ふれあい体操と外遊びの大切さや冒険遊び場の魅力についてのお話を伺い、後半では、みんなでお茶を飲みながら、子育ての悩みやあれこれをおしゃべりしましょう。もっともっと外遊びしてみたい新米パパ、ママ、ぜひぜひご参加ください。

【B】親子で冒険遊び場に行ってみよう！

～突撃！となりのプレーパーク～

体験 ワークショップ

担 当：渋谷はるのおがわプレーパーク
星野美典(プレーパークせながら) 大塚裕子(駒沢おひなま会保育協力者)

2～5歳くらいの子と
親での参加がお勧め
です。
(大人だけでもOKです)

オリンピックセンターから歩いてすぐの渋谷はるのおがわプレーパークに行こう！ よちよち歩きのちびっこには、でこぼこ地面を歩いたり、落ちて自然を見つけるだけでも楽しい遊びです。寒くなったらかまどを囲んでおやつ作り。いっぱい遊んで、おやつを食べて、心もおなかもほっかほか。ちょっぴり疲れたらオリンピックセンターに戻り、感じたこと、楽しかったこと、遊びについてなど、みんなで話し合しましょう。寒くたって、何もなくなっても子どもは遊ぶ！実際にプレーパークに行って、お父さんもお母さんも一緒に遊んで感じてみましょう。

※天候によりプログラムは変更することがあります。

※分科会【B】のみ12:30、お弁当持参で「渋谷はるのおがわプレーパーク」に集合です。

【C】遊んで？育児って？楽しい子育てしていますか？

～大人も子どもも遊んじゃおう！～

体験 ワークショップ

担 当：渋谷やこ(紙芝居「なにぬの屋」) 大森靖枝(劇団風の子)

5～10歳くらいの子
と親での参加がお勧め
です。
(大人だけでもOKです)

「外遊びが大事！親子遊びが大事！」と頭ではわかっているけれど、親子ででかけても何をしたらいいんだろう、なんてことはありませんか？いろいろ頭で悩むより、まずは外へ出かけて、思いきり遊んでみませんか？きっと、子どもも大人も目がキラキラしてきて今までの悩みへのヒントも見つかるかもしれません。前半は部屋の中で仲間づくり遊びや布紙芝居を見て、後半はみんなで野外へ行く予定です。大人も子ども時代にかえって、探偵や冒険家になっ

て一緒にドキドキ、ワクワクを探しにいきませんか？きっと新しい発見も！

※天候によりプログラムは変更することがあります。

【D】子育ての場所を育てよう！ ～みんなで育てる、私も育つ～

ワークショップ

担 当：小林中(駒沢はらっぱプレーパーク) 仙木直子(烏山プレーパーク)
進 行：西川正(ハンズオン！埼玉)

子どもが社会とかがわり始める時期は、お父さんお母さんも新たなかがわりを持てる大きなチャンス。子どものためというだけでなく、大人の「やってみよう！」という気持ちも大事に、次の一歩を踏み出してみませんか？冒険遊び場、自主保育、子育てサロンetc。遊びに行くだけでなく、かかわることでの楽しさってきっとあるはず。そんな子育ての場について、意見を交換したり、人脈を広げたり、もちろん「わたしはこんな風にやってきた」というベテランならではの貴重な意見や体験談も。あなたの「やってみよう」で子どもも、あなた自身も変わるかもしれません！

分科会 1月26日(土)

【E】遊び絵日記ワークショップから考える大人の役割

講義 ワークショップ

～はじめよう！私にできる第一歩～

担当：森川和加子(駒沢はらっぱプレーパーク) 小川芽(川崎市子ども夢パーク) 戸井田望(世田谷プレーパーク)
スペシャルゲスト：岡 健(大妻女子大学、保育学会)

子どもにとって遊びとは何だろうか？
あなたにとって遊びとはどんなものでしたか？ 何をして遊んでいましたか？ 子どもの頃の遊び絵日記を描くことで、その頃の感覚を思い出そう。それが「遊び」と「子ども時代」を理解するための第一歩！！そこから、子どもも大人もイキイキ暮らせるために、私ができることを考えよう。
また、研究者である岡健さんとともに大人の役割について子どもの視点からもせまってみよう。一人一人の力が社会を変える。その第一歩をみんなで踏み出しましょう。

【F】遊びの場で大人は子どもとどう関わるか

講義 ワークショップ

担当・進行：嶋村仁志(川崎市子ども夢パーク・当協会理事) 関戸博樹(渋谷はるのおがわプレーパーク)
矢郷恵子(当協会理事)

子どもの遊び場では、そこに関わる大人が何を大切にしているかによって質が大きく違ってしまいます。子どもの遊び場が豊かになるためには、「今この時代に、なぜ、そしてどのように子どもの遊びに大人が関わるのか」を整理し、社会で位置づけ、冒険遊び場の間で共有できる形にすることが必要だと考えます。

この分科会では、子どもの遊びに関わる大人のあり方を「プレイワーク」として捉えるイギリスの事例を題材に、遊び場に関わる大人や専門職であるプレーリーダーの遊びに関わる基本的な考え方や姿勢を振り返ることができる評価表づくりに取り組みます。

【G】広報ワークショップ ～どう見える？どう見せる？冒険遊び場～

ワークショップ

担当：斉藤啓子(武蔵野美術大学・当協会理事) 竹内のりこ(プレーパークせちがや・当協会理事)
林直樹(電通ソーシャルネットワーク室)
アドバイザー：吉田理映子(ハンスオン！埼玉)〈予定〉

あなたの冒険遊び場は、知らない人からどう見られているでしょう？ うまく伝わらないもどかしさを感じたことはありませんか？

このワークショップでは、なんと！広報のスペシャリスト、吉田さんから「うまく伝える秘けつ」を伝授してもらっちゃいます！ それぞれの持ち寄った「団体のリーフレット」をお互いに検証しあって「もっと伝える発信の仕方」をみんなで探っていきましょう。

持ち物/自分の団体を紹介しているリーフレット(40部)と”遊び心”

【H】備えあればうれしいな ～冒険遊び場のリスクマネジメント～

講義 ワークショップ

担当・進行：遠藤亮介(港南台生き生きプレイパーク) 寺島香織(千葉大学学生)
話題提供者：天野秀昭(当協会理事) 関口昇(横浜市環境創造局)

子どもの遊びにはケガが付き物。リスクを含めた「遊びの意義」をまるごと大切にすることは、冒険遊び場の大切な役割です。でも一方、だからこそ、もしもの事故やまさかのトラブルといった突発事態が起きたとき、適切に対応するための知識や技術や経験が、遊び場を支える側に必要になるのではないのでしょうか。

この分科会は、冒険遊び場の根っこを支える「もしも」への備えや、遊びの意義の伝え方などを、みんなで学び・考えることで、いきいきとした子どもの遊びを大事にする社会のための土台づくりを行いたいと考えています。

【I】冒険遊び場を運営するって？ ～運営者の立ち位置再点検～

🗣️📄

担当・進行：福島智子(羽根木プレーパーク) 入江雅子(新宿山あそび場)
助言者：加賀谷真由美(子どもの遊び場レポーター・当協会理事)

住民運営をキーワードに広がりつつある冒険遊び場づくり活動。しかし活動を始めてみると、運営者としての役割やプレーリーダーとの関係、その他いろいろな現実に対してあれこれ迷うことがでてくるものではないでしょうか？本分科会では運営者が抱える問題のうち特に人と人との関係性を中心にいくつかの事例をあげながら、参加者みんな考えていきたいと思います。運営者に限らず、立場を超えたさまざまな参加者を期待します。最後はきっと住民運営のおもしろさ、すばらしさを再確認できますよ。

【J】もう「特殊事例」ではない！

～近年開設されたパートナーシップ型冒険遊び場づくりから学ぶ～

🗣️📄

担当・進行：奥村玄(GENプランニング) 梶木典子(神戸女子大学・当協会理事) 根本暁生(当協会理事)
事例紹介：吉村晴美(新宿区福祉部子ども家庭課課長)
志村佳貞(千葉市都市局公園緑地部緑政課)ほか
調査報告：梶木典子

近年、住民と行政がパートナーシップで新たな常設の冒険遊び場を誕生させる事例が増えています。これまでは、「世田谷区は行政と一緒に冒険遊び場づくりをできている特別な例よね～」といった話をよく聞いたものです。しかし、時代はうつり、もはや「行政とのパートナーシップで冒険遊び場づくり」は特殊事例ではありません。本分科会では、全国の自治体を対象にした調査の結果や、近年開設された「パートナーシップ型冒険遊び場」の事例から、パートナーシップで進める冒険遊び場づくりで直面する課題や、それを乗り越えるための知恵と工夫を探っていきます。

1月27日(日)

分科会ではそれぞれの部屋や時間で過ごします。その成果をそのままにしてはもったいない！ということで、27日のプログラムでは、大きな部屋に集ってみんなでゆるやかに共有します。最後は集会のまとめとして「遊びで社会が変わる」ために「わたし」ができることを一緒に考えます。

出会おう！話そう！自遊な会 (9:00～12:00)

冒険遊び場づくりらしく、いろんな人と出会い、話すことによって今後の活動に役立つ情報を得たり、ネットワークづくりをしたり、それぞれが求める自由な過ごし方をしてください。分科会のダイジェスト報告や冒険遊び場に来る10代のメッセージを聞く場などが予定されています。その他、自分の活動を紹介したり、ゆっくり資料を閲覧したり…活かし方はあなた次第！

全体会 (13:00～15:30)

近年、冒険遊び場づくりの取り組みはどんどん増えています。全国の活動実態を集会に先駆けて行った調査結果から概観します。また、全国縦断！遊び絵日記ワークショップ～集会を通じて考えてきた、わたしたちが大切にしたい「遊び」について改めてまとめます。そして、みんながいきいきと遊び、暮らせる社会にしていくために「わたし」ができることを持ち寄り、どうやって次の一步を踏み出すか、一緒に考えましょう。

<申込要領（参加申込、託児、資料）>

■ 1-参加申し込みについて

別添の参加申込書を必要な枚数コピーして1人につき1枚記入して下さい。必要事項を記入し、電子メール、FAXや郵送でお申し込み下さい。申込用紙のデータはホームページからダウンロードできます。申込受理後、受付通知を発送します。参加費用は受付通知到着後、一週間以内にお近くの郵便局でお振り込みください。振込先は受付通知でお知らせします。12/16（日）を過ぎても受付通知が届かない場合は事務局までご連絡下さい。

※18歳以下は参加費は無料です。

※未成年でも親同伴でない方は、各自申込書に必要事項をご記入下さい。

※親が同伴する子の申込書は不要です。親の参加申込書に名前を記入してください。

参加費は申込書をご参照ください。

● 宿泊について

オリンピックセンター宿泊棟での宿泊はユニット型の個室で、談話コーナー・浴室・トイレ・洗面所をグループ利用するものです。団体利用ですので同時に申込を受け付けます。

1泊：1,150円 2泊：2,300円

※他所に宿泊施設を確保する方は各自で手配をお願いします。

● 食事について

25日夕食・26日朝食・26日昼食・27日朝食・27日昼食は、オリンピックセンターのカフェテリアふじ（レストラン）が利用できます。事前に食券を用意しますので、申し込んでください。当日でも券売機で購入ができます。26日夕食は懇親会（立食式）です。

■ 2-託児について

集会のプログラムはすべて子ども同伴で参加できるようにしていますが、26日（土）基調プログラムの時間・分科会の時間に別室での託児を希望される方には予約を受け付けます、事務局にご連絡下さい。折り返し託児申込の手続きをとらせていただきます。先着順になりますのでお早めをお願いします。

○基調プログラムの時間		○分科会の時間	
託児受付	10時より	託児受付	13時より
託児時間	10:30-12:15	託児時間	13:20-17:00
料金	200円（おやつ代・保険代込み）	料金	200円（おやつ代・保険代込み）
定員	おおむね1歳半～10歳 30名先着順	定員	おおむね1歳半～就学前 15名先着

■ 3-販売資料・無料配布資料の持ち込みについて

資料・本など販売したいもの、無料で配布したいものがある方は、必ず申込締め切り日までに事務局にご連絡下さい。販売は事務局側で行ないます。当日の持ち込みはご遠慮下さい。送り先等の手順は追って連絡します。

★冒険遊び場活動団体連絡先の方には、「遊び場紹介パネル作成について」などの書類をお送りしています。団体連絡先の方で、本要項以外の書類が送られていない場合は、事務局までご連絡下さい。

<申し込み締め切り> ■ 1～■ 3すべて 12月6日（木）必着です。

<参加申し込み・お問い合わせ>

特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会 『第4回冒険遊び場づくり全国研究集会事務局』

〒154-0003 東京都世田谷区野沢3-14-22

TEL. & FAX. 03(5430)1060 / メール: zenkoku-jimukyoku@ipa-japan.org

特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会ホームページ

= <http://ipa-japan.org/asobiba/>



第4回冒険遊び場づくり全国研究集会blog = <http://bouken4.exblog.jp/>

